

令和4年度

越谷市環境白書

越谷市環境管理計画年次報告書



令和3年（2021年）策定「越谷市環境管理計画」

はじめに

越谷市は、多くの河川や用水路が流れ、古くから自然に恵まれていたことから、「水郷こしがや」と呼ばれてきました。江戸時代には日光街道第三の宿場町としてにぎわいをみせ、豊かな自然と歴史が融合したまちとして発展してまいりました。

本市では、公害の防止や、自然資源・快適環境の保全・創造を図るため、昭和58年に、全国の自治体に先駆けて「越谷市環境管理計画」を策定し、先導的に環境政策に取り組んでまいりました。

昨今の脱炭素をはじめ、プラスチック廃棄物処理、気候変動による気象災害など、新たな課題に対応するため、令和3年4月に、令和12年度までを計画期間とする新たな環境管理計画を策定いたしました。

また、令和3年4月26日には、埼玉県東南部地域5市1町（草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町）で「ゼロカーボンシティ」共同宣言を行い、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを宣言しております。

今後も環境に関する状況や課題を地域レベルから世界レベルまでの確に把握し、SDGsの考え方を取り入れるとともに、世界・国・県の計画や方向性、本市の関連計画との整合性を踏まえながら、行政・市民・事業者の協働により、本市の環境施策を総合的・体系的に推進してまいります。

この「越谷市環境白書」は、このような環境分野全般の取り組みについて、令和3年度の実績をまとめるとともに、越谷市環境管理計画の年次報告書として、本市の環境施策の進捗状況を掲載しております。

本書が、多くの皆様に広く活用され、身近な環境に対してさらに関心を深めていただくとともに、環境に配慮した行動を实践する一助となれば幸いです。

令和4年10月

越谷市長 福田 晃

